

作成日 2013/06/04
改訂日 2023/07/27

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 水性スプレーA ネオクリヤー
整理番号 00534150
供給者の会社名称 アトムサポート株式会社
住所 174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6
担当部門 営業本部
電話番号 03-3969-3160
FAX番号 03-3969-3165
緊急連絡電話番号 管理本部 03-3969-3160
推奨用途 家庭用塗料

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
物理化学的危険性 エアゾール 区分1
引火性液体 区分3
健康有害性 急性毒性（吸入：蒸気） 区分4
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A
生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分2（肝臓 血液系 呼吸器 腎臓 全身毒性 中枢神経系）
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（血液系）
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
H226 引火性液体および蒸気
H332 吸入すると有害
H373 長期または反復ばく露による血液系の障害のおそれ
H222 極めて可燃性または引火性の高いエアゾール
H229 高压容器：熱すると破裂のおそれ
H319 強い眼刺激
H336 眠気およびめまいのおそれ
H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H371 肝臓、血液系、呼吸器、腎臓、全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ

注意書き
予防策

容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地しアースをとること。(P240)
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する安全対策を講ずること。(P243)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)

応急措置	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
	裸火または他の着火源に噴霧しないこと。(P211)
	使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)
	ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
	ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
	取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
	取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
	この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
保管	皮膚または髪に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚や髪を流水またはシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)
	ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。(P308+P311)
	火災の場合：消火には炭酸ガス、泡または粉末消火器等を使用すること。(P370+P378)
	気分が悪くなったときは、医師の診断、手当てを受けること。(P314)
	吸入した場合：呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、洗浄を続ける。その後、すみやかに医師の診断、手当てを受けること。(P305+P351+P338)
	気分が悪くなったときは、医師に連絡すること。(P312)
	眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
	容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。(P403+P233)
廃棄	施錠して保管すること。(P405)
	日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)
	内容物、容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 アクリル樹脂塗料 (エアゾールタイプ)

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
ジメチルエーテル	60%~70%	—	(2)-360	既存	115-10-6
その他	10%~20%	—	—	—	—
プロピレングリコールモノメチルエーテル	10%~20%	C ₄ H ₁₀ O ₂	(2)-404, (7)-97	既存	107-98-2
イソプロピルアルコール	1%~10%	(CH ₃) ₂ CHOH	(2)-207	既存	67-63-0
エチレングリコールモノブチルエーテル	5%未満	C ₆ H ₁₄ O ₂	(2)-407, (2)-2424, (7)-97	既存	111-76-2
水	5%未満	H ₂ O	なし	整理番号なし	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工

皮膚に付着した場合	呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。 付着物を布にて素早く拭き取る。 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
眼に入った場合	直ちに大量の清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 まぶたの裏まで完全に洗うこと。
飲み込んだ場合	直ちに医師の診断を受けること。 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	炭酸ガス 泡 粉末
使ってはならない消火剤	水（棒状水、高圧水） 棒状強化液
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。 指定の消火剤使用する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。 消火活動は風上より行う。 容器が高温で破裂する恐れがあるので消火活動には十分距離をとること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。 周囲を立入禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。 屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。 屋内では換気をしっかり行う。 付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 漏れ発生時には、風上より処置を行うようにし、容器の漏出部は上向きにし、完全に噴射してから処置をする 振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので、注意して取り扱うこと。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び 機材	河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	換気の良い場所で取り扱う。 容器はその都度密栓する。 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 工具は火花防止型のものを使用する。 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
-----	--

技術的対策	<p>使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。</p> <p>40℃以上の所では取り扱わないこと。</p> <p>40℃以上に暖めないこと。</p> <p>30秒以上の連続使用をしないこと。</p>
安全取扱注意事項	<p>密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着けて作業すること。</p> <p>取扱後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋などの汚染した保護具を持込まないこと。</p>
保管	<p>皮膚、粘膜、または着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。</p> <p>日光の直射を避ける。</p> <p>通風のよいところに保管する。</p> <p>盗難防止のために施錠保管する。</p> <p>子供の手の届かないところに保管する。</p> <p>火気、熱源から遠ざけて保管する。</p> <p>40℃以上の所で保管しないこと。</p> <p>水回りや湿度の高い所に保管すると容器が腐食して破裂のおそれがあるので保管場所に注意すること。</p>
安全な容器包装材料	<p>現在、知見なし</p>

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ジメチルエーテル	未設定	未設定	未設定
プロピレングリコールモノメチルエーテル	未設定	未設定	TWA 50 ppm, STEL 100 ppm
イソプロピルアルコール	200ppm	【最大許容濃度】 400ppm(980mg/m3)	TWA 200 ppm, STEL 400 ppm
エチレングリコールモノブチルエーテル	25ppm	【最大許容濃度】 20ppm(97mg/m3) (皮)	TWA 20 ppm, STEL -

設備対策	<p>取扱い設備は防爆型を使用する。</p> <p>排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。</p> <p>液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備すること。</p> <p>取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。</p> <p>屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。</p> <p>タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。</p>
------	---

保護具	
呼吸用保護具	<p>有機ガス用防毒マスクを着用する。</p> <p>密閉された場所では送気マスクを着用する。</p>
手の保護具	<p>有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。</p>
眼、顔面の保護具	<p>取扱いには保護メガネを着用すること。</p>
皮膚及び身体の保護具	<p>取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類を着けること。</p> <p>また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。</p>

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体(粘稠液)
色	無色透明
臭い	溶剤臭

融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
引火点	29.0℃ (セタ密閉式)
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	7 ~ 9
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.96 (塗料)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	火災時の燃焼により、一酸化炭素、低分子モノマーなどの有害ガスが発生する。
その他のデータ	常用温度で容器内圧は4.5kg/cm ² であり、容器耐圧から考えて80℃程度になると破裂する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性	この製品自体での有害性試験は行っていない。「2. 危険有害性の要約」に準じ、取り扱うこと。
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼 刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく 露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく 露）	データなし
誤えん有害性	データなし
その他のデータ	ジメチルエーテルには麻酔性がある。 噴射剤に継続して触れると、凍傷や炎症を起こす恐れがある。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	データなし
生態毒性	この製品自体での有害性試験は行っていない。「2. 危険有害性の要約」に準じ、取り扱うこと。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

オゾン層への有害性	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律 オゾン層破壊物質を含有しません。
その他のデータ	漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理する。</p> <p>容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。</p> <p>排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。</p> <p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。</p> <p>廃棄は、ガスが完全に抜いたのちに行うこと。（噴射音がなくなるまで）また、ガスを抜く際には、火気およびミストの吸入などについて注意すること。</p> <p>塗料及びガスが出なくなるまで使いきった後でも、そのまま火中に入れると破裂する恐れがあります。</p>
汚染容器及び包装	<p>許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。</p> <p>空容器は内容物を完全に除去してから処分する。</p> <p>スプレー缶を廃棄する場合は、自治体により廃棄方法が異なるので該当する自治体の規定に従うこと。</p>

1 4. 輸送上の注意

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国際規制

海上規制情報	I M Oの規定に従う。
UN No.	1950
Proper Shipping Name	AEROSOLS
Class	2.1
Marine Pollutant	Not applicable
Liquid Substance	Not applicable
Transported in Bulk	
According to MARPOL	
73/78, Annex II, the IBC	
Code	
航空規制情報	I C A O / I A T Aの規定に従う。
UN No.	1950
Proper Shipping Name	AEROSOLS
Class	2.1

国内規制

陸上規制	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は法令の輸送について定めるところに従うこと。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	1950
品名	エアゾール
国連分類	2.1
海洋汚染物質	非該当

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	1950
品名	エアゾール
国連分類	2.1
特別の安全対策	取扱い及び保管上の注意の記載事項に従うこと。 容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。 容器を40℃以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。
緊急時応急措置指針番号	126

15. 適用法令

労働安全衛生法	第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号） 作業環境評価基準（法第65条の2第1項） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） ・エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル（法令指定番号：79）（5%未満） ・プロピルアルコール（法令指定番号：494）（1%～10%） ・プロピレングリコールモノメチルエーテル（法令指定番号：496）（10%～20%） 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項）
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	（第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） ・エチレングリコールモノブチルエーテル（別名ブチルセロソルブ）（管理番号：594）（2.3%）
化審法	優先評価化学物質（法第2条第5項）
消防法	第4類 第二石油類（水溶性）
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申） 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達）
海洋汚染防止法	有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（X類同等の物質）（環境省告示第148号第1号） 有害液体物質（Y類同等の物質）（環境省告示第148号第2号）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	高压ガス（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	高压ガス（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法	その他の危険物・高压ガス（法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	（特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
高压ガス保安法	液化ガス（法第2条3） 可燃性ガス（一般高压ガス保安規則第2条1）
建築基準法	ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

家庭用品品質表示法

16. その他の情報

参考文献

NITE独立行政法人製品評価技術基盤機構

日本ケミカルデータベース「ezCRIC」

「GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック」日本塗料工業会

その他

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や当社所有の知見によるものですが、これからのデータや評価はいかなる保証をするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。